

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号を受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定		
		・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
	708(和銅元年)		・越後国の申請により出羽郡が建郡される	
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	712(和銅5年)		・出羽国建国、陸奥国の最上・置賜郡を出羽国に移管	
	716(霊亀2年)			
	719(養老3年)			
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	733(天平5年)			
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
平安時代	794(延暦13年)	・平安京に遷都		
	803(延暦22年)		・出羽国内で官人などの有力者が田地を開発することを禁じる	
	814(弘仁5年)		・この頃、出羽国に健児100人がおかれる	
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	850(嘉祥3年)			
	901(延喜元年)			
	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	939(天慶2年)		・出羽国が俘囚の反乱を報じる(天慶の乱)	
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・出羽国:耕地26,109町(山形県を含む)
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1051(永承6年)		・この年、前九年合戦始まる	
	1055(天喜3年)			
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)	・安倍貞任、厨川の合戦で敗北し、安倍正任ら出羽国に逃亡、前九年合戦終わる	
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1083(永保3年)		・この年、後三年合戦始まる	
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める	・この年、源義家、沼柵の清原家衡を攻めるが敗退	
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定	・金沢柵陥落し、清原家衡ら敗死	
1156(保元元年)	・保元の乱			
1159(平治元年)	・平治の乱			
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1187(文治3年)			
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
室町時代	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・出羽国:耕地 -町(山形県を含む)
	1506(永正3年)			
1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来			
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる			
安土・桃山時代	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(~'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			
	1594(文禄3年)			
	1596(慶長元年)			
	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			
	1599(慶長4年)			
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い		
	1601(慶長6年)			
	1602(慶長7年)		・徳川家康、常陸の佐竹義宣の秋田移封と秋田実季の常陸穴戸移封を命じる	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く	・秋田藩先竿検地	・角間川・門ノ目・新角間川開墾(平鹿郡、190町)*5
	1604(慶長9年)			
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)			
	1608(慶長13年)			
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)		・佐竹氏、領内の総検地を行う(中竿)	
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)			
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)			
	1623(元和9年)			
	1624(寛永元年)			
	1625(寛永2年)			
	1626(寛永3年)			
	1627(寛永4年)			
	1628(寛永5年)			
	1629(寛永6年)			
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1632(寛永9年)			
	1633(寛永10年)			
	1634(寛永11年)			
	1635(寛永12年)			
	1636(寛永13年)			
	1637(寛永14年)			
	1638(寛永15年)			
	1639(寛永16年)	・鎖国令		
	1640(寛永17年)			
	1641(寛永18年)			
	1642(寛永19年)			
	1643(寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644(正保元年)			
	1645(正保2年)			
	1646(正保3年)		・秋田藩総検地(後竿)に着手(~'48)	
	1647(正保4年)			
	1648(慶安元年)			
	1649(慶安2年)	・地方五役5人組制度		
	1650(慶安3年)			
	江戸時代前期			・久保田藩21万石、本荘藩2万石、亀田藩2万石、松山藩2万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)		・秋田藩、はじめて東廻り航路で江戸へ廻船を出す	
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)			
	1658(万治元年)			
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1662(寛文2年)			
	1663(寛文3年)			
	1664(寛文4年)			
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667(寛文7年)			
	1668(寛文8年)		・秋田藩、雄物川河口を改修し、沖口出入役所を設ける	
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			
	1673(延宝元年)			
	1674(延宝2年)	・分地制限法		
	1675(延宝3年)			・若松堰(仙北郡)*5
	1676(延宝4年)			
	1677(延宝5年)			
	1678(延宝6年)			
	1679(延宝7年)			
	1680(延宝8年)			
	1681(天和元年)			
	1682(天和2年)			・下堰(由利郡、38町)*5
	1683(天和3年)			
	1684(貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		
	1685(貞享2年)			
	1686(貞享3年)			
	1687(貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		
	1688(元禄元年)			
	1689(元禄2年)			
	1690(元禄3年)			
	1691(元禄4年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1692(元禄5年)			
	1693(元禄6年)			
	1694(元禄7年)			・上堰(仙北郡、296町)*5
	1695(元禄8年)			・嘉門堰(上堰)(由利郡、160町)*5
	1696(元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697(元禄10年)			
	1698(元禄11元年)			
	1699(元禄12年)			・下堰(仙北郡、灌漑面積496町)*5
	1700(元禄13年)			
	1701(元禄14年)			
	1702(元禄15年)			
	1703(元禄16年)			
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始	・秋田藩に上州利根川・荒川筋藩請の幕命	・宝永年間:朝倉村開墾(平鹿郡、110石)*5
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			・正徳年間:松倉水門(仙北郡、273町)*5
	1712(正徳2年)			
	1713(正徳3年)			
	1714(正徳4年)			
	1715(正徳5年)			
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		
	1717(享保2年)			
	1718(享保3年)			
	1719(享保4年)			
	1720(享保5年)			
	1721(享保6年)	・目安箱の設置		
	1722(享保7年)	・新田開発の奨励		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
江戸時代	1723 (享保8年)			
	1724 (享保9年)			
	1725 (享保10年)			
	1726 (享保11年)	・新田検地条目の制定	・本荘藩、不作のため、前年の2000俵に続き秋田藩に借米を要請	
	1727 (享保12年)			
	1728 (享保13年)			
	1729 (享保14年)			
	1730 (享保15年)			
	1731 (享保16年)			
	1732 (享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733 (享保18年)			
	1734 (享保19年)			
	1735 (享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736 (元文元年)			
	1737 (元文2年)			
	1738 (元文3年)			
	1739 (元文4年)			
	1740 (元文5年)			
	1741 (寛保元年)			
	1742 (寛保2年)			
	1743 (寛保3年)			
	1744 (延享元年)			
	1745 (延享2年)			
	1746 (延享3年)			
	1747 (延享4年)			
	1748 (寛延元年)			
	1749 (寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750 (寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積：田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・出羽国：田83,652町、畑36,309町、計119,961町(山形県を含む)
	1751 (宝暦元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1752(宝暦2年)			
	1753(宝暦3年)			
	1754(宝暦4年)			
	1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成	・この年、秋田藩領では2年続きの凶作となり飢人が出る	
	1756(宝暦6年)			
	1757(宝暦7年)		・本庄藩、象潟大瀬湊長磯防波堤を普請	
	1758(宝暦8年)			
	1759(宝暦9年)			
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)			
	1764(明和元年)			
	1765(明和2年)			
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			
	1768(明和5年)			
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773(安永2年)			
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)			
	1776(安永5年)			
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			
	1779(安永8年)			
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉	・秋田藩、大飢饉に見舞われ、八橋村に施行小屋を建てて貧民を救済	
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		
	1786(天明6年)	・卜総手貫沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			
	1802(享和2年)		・伊能忠敬、秋田領内測量	
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)		・象潟、大地震で海底が隆起し、陸地となる	・文化年間：四ツ小屋堰(河辺郡)*5
	1805(文化2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1806(文化3年)			
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)		・この年、栗田定之丞の新屋浜植林が100万本をこす	・白浜流水(仙北郡、灌漑面積46町)*5
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			・文政年間:古開岡谷地堤敷開墾(南秋田郡、31町)*5
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成	・渡部惣治・斧松、払戸村烏居長根の開墾を許される	
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			・西目潟干拓(由利郡、96町)*5
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			・象潟干拓(由利郡、100町)*5 ・天保年間:太田新田(北秋田郡、100町)*5
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉	・この年、「巳年の飢渴」といわれる大飢饉	
	1834(天保5年)	・諸国飢饉	・飢饉による疾病流行で4月から12月までに5万2464人死亡	・御堰開墾(仙北郡、1000町)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1835(天保6年)			
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・吉田開墾地(北秋田郡、16町)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		・川井開墾(北秋田郡、60町)*5
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		・茨島出戸谷開墾(山本郡、60町)*5
	1848(嘉永元年)			・鳥居長根開墾(南秋田郡)*5
	1849(嘉永2年)			
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリ―浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		・大麦・赤沢・寺沢・蒔田・八田大倉開墾地(南秋田郡、100余町)*5
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		
	1861(文久元年)			・櫃崎・赤石・板沢・出川・下川原開墾地(北秋田郡、100町)*5
	1862(文久2年)			
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新		・天王村開墾(南秋田郡)*5
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		・新川(由利郡、灌漑面積700町)*5
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可	・秋田県が誕生	
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除		
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)			
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		
	1878(明治11年)			
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(~82)		・旧秋田藩士族、士族授産団体秋成社を結成 ・河辺郡大張野、南秋田郡將軍野の開墾に着手
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行		
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立	・明治天皇、東北巡幸	
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		
	1883(明治16年)			
	1884(明治17年)			
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886(明治19年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
明治時代	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通		
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震	・全県に大暴風雨、農作物の被害甚大	
	1892(明治25年)		・大洪水、県内の河川大氾濫	
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田98,835ha、畑35,039ha、計133,874ha
	1893(明治26年)			
	1894(明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895(明治28年)			
	1896(明治29年)	・河川法制定	・六郷地震、死者209人	
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)			
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		
	1903(明治36年)			
	1904(明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)	・奥羽線が全線開通	
1906(明治39年)				
1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		・和田池、四ツ小屋堰(中央耕地整理地区)新設、松倉堰(仙北郡)改築着工*2	
1908(明治41年)				
1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)			
1910(明治43年)	・韓国併合	・雄物川大洪水で死者21人	・秋田県初の暗渠排水工事(富田式)が鹿角郡毛馬内町にて実施される	
1911(明治44年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
大正時代	1912 (大正元年)			
	1913 (大正2年)	・北海道大冷害	・冷害のため43万石減収	
	1914 (大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		
	1915 (大正4年)			
	1916 (大正5年)			
	1917 (大正6年)	・米価高騰		
	1918 (大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		
	1919 (大正8年)	・都市計画法公布		・二の堰用水路及び取入堰改修着工(横手市)*2
	1920 (大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921 (大正10年)	・米穀法公布		
	1922 (大正11年)			
	1923 (大正12年)	・関東大震災		
	1924 (大正13年)			・仁井田堰用水施設改築着工*2
	1925 (大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		・齋内川筋用水改良事業着工(～'29)
	1926 (大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		・平鹿堰用水改良事業着工(～'30)
	1926 (昭和元年)			
	1927 (昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		・湯ノ沢池・馬鞍沢池*2
	1928 (昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		
	1929 (昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		・七滝第1池・七滝第2池*2 ・七滝用水改良事業着工(～'35)
	1930 (昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する		
	1931 (昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作	・この年、東北地方は大凶作	・新城川用水改良事業着工(～'37) ・玉川用水改良事業着工(～'39) ・第2七滝用水改良事業着工(～'38)
		・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		・釈迦池・岩上池・大沢池*2 ・長木川用水改良事業着工(～'38) ・白雪川用水改良事業着工(～'36)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
	1932(昭和7年)		・救農土木臨時県議会開かれる	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期新城川用水改良事業着工(～'38) ・馬場目川用水改良事業着工(～'34) ・山城堰用水改良事業着工(～'34) ・金沢堰外3ヶ村用水改良事業着工(～'34) ・高松川用水改良事業着工(～'34) ・平鹿堰下流用水改良事業着工(～'34)
	1933(昭和8年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波 		<ul style="list-style-type: none"> ・第2期金沢堰外3ヶ村用水改良事業着工(～'34) ・第2期高松川用水改良事業着工(～'34) ・第2期馬場目川用水改良事業着工(～'34) ・西馬音内町外2ヶ村用水改良事業着工(～'34) ・子吉村用水改良事業着工(～'35) ・新城川北部用水改良事業着工(～'34)
	1934(昭和9年)	<ul style="list-style-type: none"> ・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風 	・東北地方大凶作、農村の疲弊極度に達する	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期新城川用水改良事業着工(～'39) ・第4期新城川用水改良事業着工(～'35) ・第2期白雪川用水改良事業着工(～'35) ・第3期馬場目川用水改良事業着工(～'35) ・植田村外2ヶ村用水改良事業着工(～'35) ・皆瀬川筋用水改良事業着工(～'37) ・第2玉川用水改良事業着工(～'36) ・吉田村外1ヶ村用水改良事業着工(～'38) ・八沢木村外2ヶ町村用水改良事業着工(～'39) ・第4期馬場目川用水改良事業着工(～'37) ・西目村外2ヶ村用水改良事業着工(～'36) ・第5期新城川用水改良事業着工(～'36)
	1935(昭和10年)			<ul style="list-style-type: none"> ・第3期金沢西根外3ヶ村用水改良事業着工(～'37) ・第2長木川用水改良事業着工(～'42)
	1936(昭和11年)	・2.26事件		<ul style="list-style-type: none"> ・長木川池・馬鞍沢池改修*2 ・旭川筋用水改良事業着工(～'41) ・雄物川筋用水改良事業着工(～'38) ・馬鞍用水改良事業着工(～'38)
	1937(昭和12年)	・廬溝橋事件(日中戦争開始)		<ul style="list-style-type: none"> ・国営田沢疏水農地開発事業着工(～'62)※ ・東滝沢村1ヶ村用水改良事業着工(～'41)
	1938(昭和13年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家総動員法公布 ・農地調整法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・玉川用水改良事業着工(～'42) ・四ツ屋村外2ヶ村用水改良事業着工(～'41)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
				・子吉村排水改良事業着工(～'39)
	1939(昭和14年)	・第2次世界大戦はじまる		・八面沢池、六ヶ村池*2 ・第2期雄物川左岸用水改良事業着工(～'40) ・犀川左岸用水改良事業着工(～'45)
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		・新城川筋用水改良事業着工(～'42) ・第2旭川筋用水改良事業着工(～'44) ・三種川筋用水改良事業着工(～'43)
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		・大館用水改良事業着工(～'42) ・芋川筋用水改良事業着工(～'52) ・第2新城川筋用水改良事業着工(～'56)
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)		鮎川筋用水改良事業着工(～'55)
	1943(昭和18年)			・芋川池(貝沼嵩上げ)・赤の沢池・大谷地池(嵩上げ)・吉田沢池*2 ・石沢村外2ヶ村用水改良事業着工(～'46)
	1944(昭和19年)			・仁井田堰(第2次)改修着工*2 ・二井田村外1ヶ村用水改良事業着工(～'49)
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定	・土崎大空襲	
	1946(昭和21年)	・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正 ・地方農地事務局設置	・全県的に水害発生、1万5000ha冠水 ・農地改革、'52年度末までに4万7800町歩を買収	・国営雄物川筋農業水利事業着工(～'80)※ ・第2犀川左岸用水改良事業着工(～'51) ・綴子村外2ヶ村用水改良事業着工(～'49)
	1947(昭和22年)	・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布	・7.21 大水害、死者25人、浸水5万ha	・第2期二井田村外1ヶ村用水改良事業着工(～'49)
	1948(昭和23年)	・建設省設置		・鏡田、小深田用水と二田堰用水着工*2 ・天王村二田堰用水改良事業着工(～'50) ・花輪町外1ヶ村用水改良事業着工(～'50) ・山田村外2ヶ村用水改良事業着工(～'52)
	1949(昭和24年)	・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施	・キティ台風、約8000ha被害	・玉川用水改良事業着工(～'54)
		・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布		・松倉堰用水*2 ・滝沢堰用水改良事業着工(～'51)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
昭和時代	1950(昭和25年)			・綴子村用水改良事業着工(～'50) ・神宮寺町外3ヶ村用水改良事業着工(～'54) ・鹿倉防災ダム事業着工(～'57)
	1951(昭和26年)	・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布		・下岩川村用水改良事業着工(～'51) ・西馬音内用水改良事業着工(～'61) ・玉米用水改良事業着工(～'63) ・八郎潟東岸排水改良事業着工(～'56)
	1952(昭和27年)	・農地法公布	・県庁内に農林省八郎潟干拓調査事務所を設置	・稲庭用水改良事業着工(～'59) ・山城堰用水改良事業着工(～'61)
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		・強首用水改良事業着工(～'59) ・大館用水改良事業着工(～'61) ・六郷用水改良事業着工(～'63)
	1954(昭和29年)		・オランダのヤンセン教授、八郎潟を視察	
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		
	1956(昭和31年)			
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始	・八郎潟干拓事務所を設置(調査事務所は廃止)	・国営八郎潟干拓事業着工(～'76)※ ・井河用水改良事業着工(～'68)
	1958(昭和33年)			
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風		・鹿渡用水改良事業着工(～'67) ・窪堰用水改良事業着工(～'67)
	1960(昭和35年)	・所得倍増計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え		・岱山用水改良事業着工(～'68)
	1961(昭和36年)	・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62)		・相野々ダム完成※ ・米内沢用水改良事業着工(～'66) ・仁井田用水改良事業着工(～'66)
		・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha		・田121,900ha、畑30,300ha、計152,200ha
	1962(昭和37年)			・鷹巣用水改良事業着工(～'66)
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		・国営第二田沢農地開発事業着工(～'70)※ ・金保陀羅農地開発事業着工(～'65)
1964(昭和39年)	・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布	・新潟地震 ・八郎潟干陸式、大潟村発足	・真崎用水改良事業着工(～'69) ・峰浜農地開発事業着工(～'66) ・芋川一期防災ダム事業着工(～'69)	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
				・仁井田ほ場整備事業着工(県内第1号、～'69)
	1965(昭和40年)			・雄物川筋用水改良事業着工
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)	・八郎潟への初入植者、研修所の入所式	・花輪用水改良事業着工(～'68) ・小友川用水改良事業着工(～'71)
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布		・天王用水改良事業着工(～'70) ・芝野用水改良事業着工(～'70) ・西目用水改良事業着工(～'71) ・芋川二期防災ダム事業着工(～'73)
	1968(昭和43年)			・国営能代農地開発事業着工(～'89)※ ・綴子用水改良事業着工(～'70) ・八竜用水改良事業着工(～'74)
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設	・八郎潟干拓工事完了	・国営仙北平野農業水利事業着工(～'85)※ ・大野農地開発事業着工(～'77) ・大雄農地開発事業着工(～'78)
	1970(昭和45年)		・この年、減反政策始まる	・仙北平野用水改良事業着工 ・河戸川農地開発事業着工(～'75) ・南外防災ダム事業着工(～'78) ・比内山麓広域農道事業着工(県内第1号、～'73)
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		・金沢用水改良事業着工(～'80) ・南外用水改良事業着工(～'78) ・旭川用水改良事業着工
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設		・松倉用排水改良事業着工 ・田代用排水改良事業着工(～'80) ・琴浜畑総事業着工(～'82) ・鳥海上原農地開発事業着工(～'75)
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次)		・鳥田目用水改良事業着工(～'79) ・寒風山麓用水改良事業着工(～'81) ・八郎潟西部用排水改良事業着工
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足		・新城川用水改良事業着工 ・戸村用水改良事業着工
	1975(昭和50年)		・農水省、大潟村の過剰作付けを認めないことを通告、大潟村で青刈り始まる	・滝沢用水改良事業着工(～'82)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
				・峰浜防災ダム事業着工
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		・小種畑総事業着工(～'83)
	1977(昭和52年)		・八郎潟干拓事業・新農村建設事業完了	・金浦用水改良事業着工(～'82) ・峰浜用水改良事業着工
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		・角間川用水改良事業着工(～'82) ・五輪坂農地開発事業着工
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		・国営田沢疏水農業水利事業着工(～'89)※
	1980(昭和55年)			・強首用排水改良事業着工 ・窪堰排水改良事業着工
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		・天王用水改良事業着工 ・鷹巣三堰用水改良事業着工
	1982(昭和57年)			・西目用水改良事業着工 ・長木右岸用水改良事業着工
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震	・5.26 日本海中部地震(M7.7)、津波が北部海岸を襲う、死者83人	・和田用水改良事業着工 ・田沢疏水用排水改良事業着工
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定		
	1985(昭和60年)		・「あきたこまち」新銘柄米の初出荷	
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通		
	1989(平成元年)			
	1990(平成2年)			
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		
	1992(平成4年)			
		・環境基本法案決定		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
平成時代	1993(平成5年)	・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入	・ブナ原生林白神山地が世界遺産に登録	
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			・国営男鹿東部農地防災事業着工(～'07)※
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布	・秋田新幹線開業	
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		・国営仙北平野施設整備事業着工(～'02)※
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		
	2001(平成13年)			・国営平鹿平野農業水利事業着工※
	2002(平成14年)			・国営馬場目川下流施設整備事業着工(～'06)※
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)			
			・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha	・田131,600ha、畑20,600ha、計152,200ha
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
	2009(平成21年)			
	2010(平成22年)			
2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		・国営田沢二期農業水利事業着工※	
2012(平成24年)			・国営横手西部農業水利事業着工※	
2013(平成25年)				

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	秋田県の歴史	秋田県の水土整備の歴史
----	--------	-------	--------	-------------

*5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)

※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「秋田県土地改良史」(1985年)より抜粋

また、秋田県の歴史は「秋田県の歴史」(2001年)(山川出版社)より抜粋